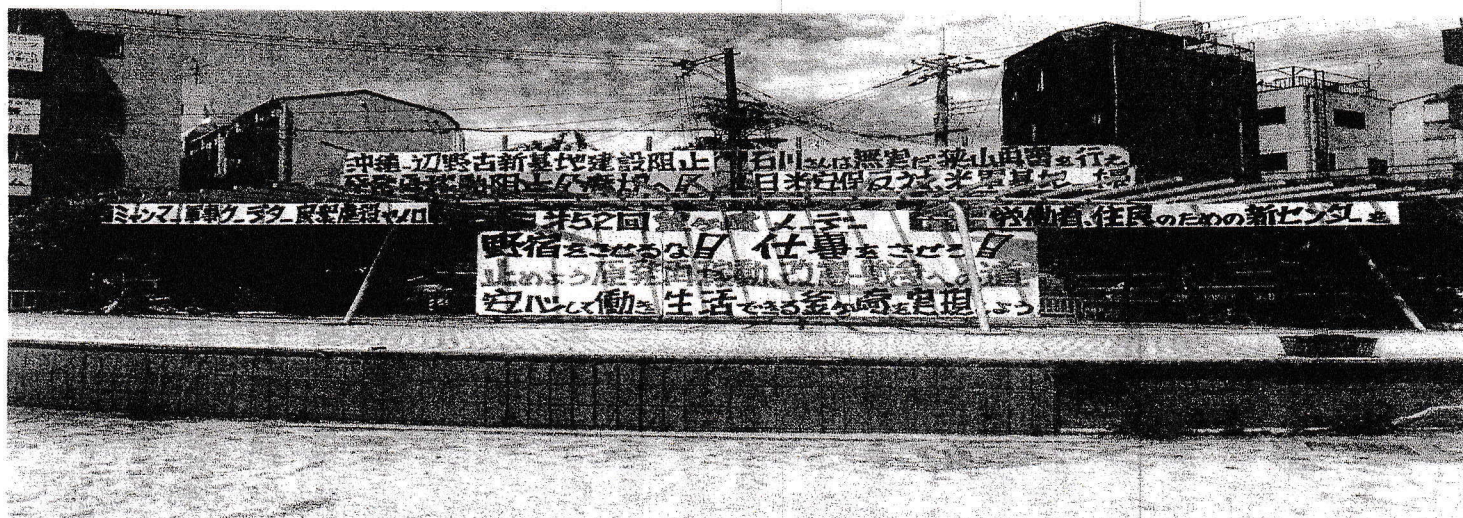


釜ヶ崎解放

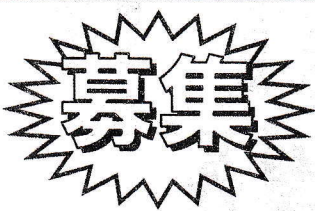
2022年
4月20日号

全国日雇労働組合協議会
釜ヶ崎日雇労働組合
06-6632-4273

第53回釜ヶ崎メーデーに立ち上がろう！



メーデーは一八八六年五月一日にアメリカの労働者三十五万人がそれまでの長時間労働を八時間制にすることを要求し、ゼネスト（全国統一ストライキ）を行ったことを出発点とし、一八九〇年に八時間労働制を掲げ第一回世界統一メーデーが行われました。日本では遅れること三〇年、大正九年に第一回が八時間労働制を掲げ行われました。このように産業革命（蒸気機関などの発明による手工業から機械工業への転換による大量生産時代への変化）後の資本主義経済のなかで、大人だけでなく子供たちまでもが、14～16時間の労働で、病気になれば解雇、使い捨てにされてきた労働者がともにひとつの声を上げることによって、一見立場の強そうな資本家たちに対して、一日八時間制等の諸権利を勝ち取ってきたのです。労働法の大部分はこのように労働者が団結した力で長い時間をかけて勝ち取ってきたものです。決して資本家や役所がくれたプレゼントではありません。ともに闘いましょう！



第53回釜ヶ崎反失業メーデー参加者の中から抽選で、

連合メーデー会場の清掃の仕事を募集します。(23日まで)

メーデー会場の掃除・片付け 約5時間ほど 5700円(手取り)の仕事です。

詳しくは 080-5305-6996、06-6632-4247 担当；山中

全国-全世界の労働者 被抑圧民族と団結しよう 分断支配を打ち破り 正規-非正規貫く階級的団結を

金ヶ崎の仲間のみならず、
金ヶ崎のメーデーは、昨年「オシ
ちも労働者だ」と声をあげ、オ一回
目の金ヶ崎メーデーを闘ったから、毎
年途切れることなく続けられてきた。
越冬闘争や夏まつりと合わせて、金
ヶ崎の闘いの大きな柱だ。
わけでも、メーデーは、金ヶ崎の労
働者の闘いと、全国-全世界の労働者
・被抑圧民族との団結の問題とこと
らと返り、差別分断支配を打ち破り、
正規-非正規を貫く階級的団結を創り
出す闘いとして重要な闘いだ。
オは回金ヶ崎メーデーを団結して
い抜こう。
金ヶ崎の仲間のみならず、
ロシアのウクライナへの侵攻以降、
戦争が拡大し、一方で全世界で反戦
争が高揚している。
くかく、ロシアの侵攻は止まらない
し、「西側」にしろウクライナへの軍
事支援は拡大するばかりで、戦争は広

大するばかりだ。「経済制裁」も対立
緊張を深めるばかりだ。関係諸国に「即
時停戦」を求めていこう。
同時に、このウクライナ戦争を口実に
偏狭な愛国主義を煽り、核武装を含めた
臨戦体制構築を狙う、自民党政権による
改憲一戦等への道を止めていかなければ
ならない。
メーデーで、「戦争反対」の声を大
きく上げよう。
そして、反米軍国等の更なる前進だ。
アフリカ地獄は、深まるばかり、ぶどうは
上がりず、物価だけは上がり、増え生活
は苦くなるばかりだ。
「働いてメシの食える金ヶ崎」を目指
く、そして、「くくみ」を創り出さ
ない。センター建替の問題も、この
金ヶ崎の未来を展望した議論をおお
いに進めようといふ、で、本当に必
要で、労働者や地域の住民のためのもの
として作らなければならぬ。
オは回金ヶ崎メーデーを成功させよう。

53回金ヶ崎メーデー 7:30-三角公園で集会
8:15-地域内デモ-カンパイ